

いまどきの歴史

一番新しい日本の一ページ

発展って?

びわこ空港建設住民67%の反対 発展とは経済成長のことなのか

アクセス的にこんな良心的な巨大駐車場が
できたとしても、ねえ…



昨年12月21日、滋賀県蒲生町と日野町にわたり建設予定のびわこ空港建設の是非を、建設地である日野町野出地区の57戸195人の投票権をもつ地権者に問う住民投票が行われ、賛成57、反対123、無効3と反対票が67%を占めた。だが奥野町長は「あくまでも『空港を核とした町づくり』を進める」と、町議会、全町区長会の同意を取り付け、稲葉知事に環境アセスメントの実施を依頼したという。

我が国にあって住民投票の結果には、基本的に法的拘束力がないとはいえ、なぜ常に行政は「それでも…」と元の

計画を投票結果をなんら見直す事なく推し進めるのだろうか。わざわざ民意を問うて、都合悪い結果は無視するのならば、そんなことしなければよい。

「空港ができれば町は発展する」が町側の錦の御旗なのだろうが、そもそも「町の発展」とは経済力の強化しかないのだろうか。経済発展は物理的なものであり文明面の問題だ。しかし発展には精神的な、つまり文化的な方向もあるはずだ。あのどなかで、穏やかな住民の多い日野町には文化的発展を目指す方がふさわしいと思うが、考え直す気はないか。

ラグビー 京都勢頑張った新年学生ラグビー 美学に散った京産、力負けの伏工

神戸製鋼か同志社のファンでなければ、と但し書きをしておくが、この新年の学生ラグビーは京都人には痛快だった。京産大は早稲田に勝ち、伏工は花園で決勝進出を果たした。

京産は全国選手権準々決勝で早大と対戦、FW戦で圧倒し69-18と早大に選手権史上最悪の敗戦を味わわせたが、準決勝・関東学院戦ではそのFW戦で劣勢だったのに、ゴール前のスクラム戦に固執し、カウンターアタックを食って敗れ、国立1勝をまとも逃した。

伏工は宿敵・啓光学園を持ち前のバックスへの大胆な展開で破ったが、決勝戦、國學院久我山高戦では立ち上がりから苦手なFW戦に巻きこまれ、後半に入りやっとなダイナミックなバック展開を見せ、トライを連取、終了間際に2点差まで追いついたが力つきた。

だが昨年夏の平安高野球部と並び、このところバツとしない関西のスポーツシーンに一筋の光明を見せてくれたことは確かである。来年はもう一段階上を目指してほしいものだ。



美学の為なら負けてもよかったのは
オランダサッカー

大丈夫かなアオフト...

結局首相の一人勝ちでは?

さあ みんな好きなもん同士で組になって...



解党

新進党豪快に分裂! 問題は本当に政策?

今さらのようですが去年12月27日の両院議員総会で解党を決めた新進党は4つに分裂しました。小沢「自由党」、細川「フロンティア」、中野「新党友愛」、鹿野「国民の声」だそうで、それでその内自由党を除いた3党が、野党第1党になった民主党の音頭取りで、太陽党、民主改革連合と統一会派を結成したんだそうで、こう分裂合体を繰り返されると「おまえらはプロレス団体か? 細胞か?」といったくなるようになっていくとあります。そのうち小沢

自由党と菅民主党が合体して、もうひとつ自由民主党ができちゃたらどうしようなどと、つい考えたりするこの頃です。

問題は小沢一郎さんがいうように「政党は政策で語られるべき」ところが、「アイツは好き」だの「アイツは嫌い」だので分裂合体が繰り返されている事実です。実は野党がこんなことしているうちは橋本=超無能内閣が安泰であることが国民にとって、最も困った事態だということを分かってほしいのですが。



文◎杉谷 肖

野球からプロサッカーまでのスポーツライター。1961年10月3日岐阜市生まれ。わかったようなことをいい散らかしているうちに仕事になる「自信の後ろから実績がついてくる」タイプ。自分では自分のことを「チクワのようだ」と思っている。いわく「志はないが、立てれば自分で立っている」。



イラスト◎両口 和史

1967年京都市生まれ。京都精華大学美術学部卒業。1991年より京都を中心にフリーで活動。音楽、雑貨に対するこだわりは変人クラス。宝物は愛車ルノー4とスバル360、そして伝説の名器73年型のフェンダーローズ。